

# 第27回三木市少年スポーツ大会（剣道の部）兼 第34回三木市民剣道大会 各教室入賞を分け合う

平成25年度最後の市内大会で、「第27回三木市少年スポーツ大会（剣道の部）兼第34回三木市民剣道大会」は、天候に恵まれた11月17日（日）、三木市吉川総合公園文化体育館で行われ、小・中・高の選手131名、一般約20名、役員、審判を含め大会関係者約200名が参加した。

大会前日には、三木市剣道連盟事業企画部（下瀬澤生部部長）、少年指導部（大柴敏昭部長）らのメンバーに、各剣道教室の父母会の役員の方々が吉川に集まり、手際よく会場準備をされた。いつものことだが、組織だった、無駄のない会員の動きには感心させられる。

17日の会場では、試合に先立って審判団を元立ちに、参加者全員が合同稽古に汗を流した。

一方小学5・6年生の出場者は、高橋会長とともに三木山総合公園陸上競技場での総合開会式に出席した。



大会の開会式には、来賓として、三木市スポーツ振興基金理事、松本明紀市教育長、北井伸一郎三木市副市長が参列され、それぞれ祝辞を述べられた。

選手宣誓は、別所少年剣道教室の二杉晃平キャプテンが、力強く行った。

試合はA～Dの4コートで、小学生4年生以下の男子から順次始まり、いずれも3人1組のリーグ戦が先ず行われ、それに勝ち抜いた者同士のリターン戦に移る。

小学生男子4年生以下は総勢34名と一番多く、女子は低・高学年共8名で著しく少ない。中学女子はたった2名の寂しさだった。

入賞者は別表の通りだが、各教室仲良く賞を分け合い、一部突出という教室はなくなっていた。

低学年の人数が、5・6年以上より多いことは頼もしい。しかし、女子の人数が増



えないのは課題が残る。

女子で目立つのは、4年生以下では志染が、5・6年生では口吉川の活躍が目立つ。特に実力者の加村仁奈（三木中央）を破って優勝した末廣美幸（口吉川）の活躍が光っている。

男子5・6年の部は、試合巧者の橋間祐仁（吉川、橋間3兄弟の末っ子）が別所の2人、自由が丘の林を振り切って優勝した。

## 群を抜く緑が丘の 剣道形

### 剣道形

昼休みをはさんで、各教室代表による「日本剣道形」の試合が行われた。審判は田畑修（教士7段）、小寺正敏（教士7段）、安田隆一（錬士6段）の3先生である。



各代表はくじ引きで組み合わせを決め、「日本剣道形太刀の形」5本目までを一人一組で行う。2度の「形講習」を受け、各教室でも先生方付ききりで指導を受け充分稽古を積んでいる。ほとんどが5・6年生の組み合わせだが、中には「三木少年剣道会」のように2年生、3年生の組もある。先ず別所・吉川・緑が丘・中央が勝ち残り、最後に別所と緑が丘の決戦となった。判定の旗は2と1と分かれたが、緑が丘が、先の「木刀による剣道基本技」（青少年健全育成大会時）の優勝に引き続き、他教室を頭一つ抜き出した形で優勝した。緑が丘の二人（増田萌花・5年、森岡祥平・6年）は、2人の息がびったり合い、掛け声も大きく、剣の理合いを見事に表現していた。

# 赤松伸哉、遂に優勝

## (中学生男子)

午後の試合は、中学生男子から始まった。中学生男子では、自由中、吉川に実力者が多い。それらを一つひとつ下しながら優勝した志染SSDの赤松伸哉は立派。これまで惜しいところで涙を吞んできたが、今回は遂に頂点に立った。悲願の初優勝。

## 社高小湊恵里香、杉正

### (県5位) に肉薄

高校生は市内の4つの高校、それに小野高から男女26名が出場し、大いに大会を盛り上げた。

女子は吉川高の新人3名も含めて12名が参加。県大会個人5位の實力を誇る杉正香(三木東高)が他を圧して優勝したが、その杉正に一歩も引かず延長に持ち込んだ小湊恵里香(社高)の健闘が光る。

## 見ごたえあった

## 高校男子の部

### 山口(小野)―松本(三木)の一戦

高校生男子は、今大会の見所だった。三木高の6名と北高の5名、それに小野高の3名、14名が争った。特に優勝戦を戦った、山口優輝(小野高)と松下勇輝(三木高)の一戦は手に汗握る決戦で見ごたえがあり、勝負がついたときは盛大な拍手が会場から起こった。

## 模範示した

### 高校の先生方

八木啓介(三木東高、一般青年の部)、安田隆一(三木北高、一般壮年の部)、大西由記(吉川高、一般女子の部)

一般の部は、仕事の関係や他の行事との関係で出場者が少なく、若干寂しかったが、少人数ながらそれぞれ中身のある試合を展開した。特に高校の顧問の先生方は、教えるの見える中、率先して試合に出場、模範的な試合を展開され、いい手本になった。



4年以下女子の部



剣道形 準優勝(別所)



剣道形 優勝(緑が丘)



5・6年男子の部



5・6年女子の部



4年以下男子の部



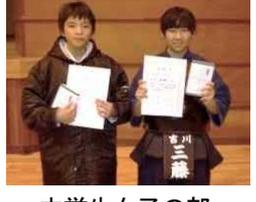
高校生男子の部



高校生女子の部



中学生男子の部



中学生女子の部

## 各部入賞者



一般男子壮年の部



一般男子青年の部



一般女子の部

### 日本剣道形の試合(教室対抗)

【優勝】緑が丘SSD 【準優勝】別所少年剣道教室 【三位】吉川・三木中央

【小4以下女子の部】優勝【照井葉生(志)】

【準優勝】粟田胡春志

【小4以下男子の部】優勝【加村蓮中】

【準優勝】石田直史(緑)【三位】森本隆文

【吉・吉見倭(緑)】

【小5・6年女子の部】優勝【末廣美幸(口)】

【準優勝】加村仁奈(中)【三位】幅美萌梨

【緑・小山祐依(口)】

【小5・6年男子の部】優勝【橋間祐仁(吉)】

【準優勝】林大稀(自)【三位】生田龍平

【別・中本紫那(別)】

【中学生女子の部】優勝【三藤暢子(吉)】

【準優勝】岸本梨弘

【中学生男子の部】優勝【赤松伸哉(志)】

【準優勝】池田聖彬(吉)【三位】鈴木斗麻

【自由中】

【高校生女子の部】優勝【杉正香(三木東)】

【準優勝】西尾風花(三木東)【三位】守澤

和沙(三木北・金谷美幸)

【高校生男子の部】優勝【山口優輝(小野)】

【準優勝】松下勇輝(三木)【三位】石田

諭史(三木・寺尾航平(三木))

【一般女子の部】優勝【大西由記】

【準優勝】柴田曜子

【一般男子青年の部】優勝【八木啓介】

【準優勝】山口直輝(三位)河野聡範

【一般男子壮年の部】優勝【安田隆一】

【準優勝】中谷忠資(三位)真嶋新三・澤

田薫